

【様式1】

## 概要書

研究名	食品自動挿入装置の開発
民間機関等 (相手方)の名称	伊藤ハムデイリー株式会社
研究の概要	<p>伊藤ハムデイリー株式会社（以下、伊藤ハムデイリーという）は、1975年宮城県栗原郡高清水町（現栗原市）に伊藤ハム栄養食品(株)より分離し、(株)東北伊藤ハムを設立以来、畜産物加工食品の生産を主として行っている。レトルトなどの加工食品の生産に係る作業は機械化・自動化が困難な作業も多く、作業者の頭と手に頼る部分がある。今回は食品工場の生産性改善を目的に手作業で挿入している工程を半自動化できる方式を検討し改善に寄与するものである。</p> <p>例として現在、ラインへ挿入作業をする食品はやわらかく、作業者が外観を確認しながら丁寧に挿入しなくてはならず、食品から破片が落下するあるいはソースが落下するなどすることでパックの密封が不良になるなど問題が起こりうる。</p> <p>そこで本共同研究では、挿入の際、起こりうるミスを未然に防ぐ事を目的として、食品の挿入を半自動化する装置の開発を行うと共に作業環境の改善に取り組むため「食品自動挿入装置」の開発を行う。なお、食品製造ラインの生産設備は全て専用設備であり工程もその場所にしかないため装置の確認はダミーの生産工程を作成し共同で動作確認をもって評価を行うものとする。食品投下方式等具体的な動作は今後の進行状況に合わせて調整を行っていく。</p>